

コースコード：RH-DO188

税込価格：207,900円 (税抜価格：189,000円)

日数：3日間

トレーニング内容

Red Hat OpenShift Development I: Introduction to Containers with Podman (DO188)

では、Podman と Red Hat OpenShift を使用したコンテナの構築、実行、管理について紹介します。このコースでは、実践的な体験を通じて、コンテナ化アプリケーションを開発するためのコアスキルを構築します。これらのスキルは、Red Hat OpenShift on AWS (ROSA)、Azure Red Hat OpenShift、OpenShift Container Platform など、OpenShift のすべてのバージョンの使用に適用できます。

このコースは、Red Hat® Enterprise Linux® 9、Podman 4.4、および Red Hat OpenShift® 4.14 に基づいています。

コースの修了後、仮想環境を含むすべてのコースについて、ハンズオンラボへの 45 日間の延長アクセス権が付与されます。

ここに注目!!

ワンポイントアドバイス

Red Hat OpenShift にアプリケーションをデプロイするための、Podman を使用したコンテナの構築と管理の開発者向け概要

受講対象者

このコースの受講対象者は次の通りです。

コンテナ・テクノロジーを初めて使用する開発者とサイト信頼性エンジニア

OpenShift クラスタとコンテナ化アプリケーションの管理に関心を持つシステム管理者とプラットフォーム運用者は、Red Hat OpenShift Administration I: Containers & Kubernetes (DO180)を受講してください

前提条件

このコースを受講する前に受講者が習得しておく必要がある知識およびスキルは次のとおりです。

Web アプリケーションのアーキテクチャや、対応するテクノロジーに関する経験がある方。

Linux のターミナルセッションの使用経験、OS



コマンドの実行経験があり、シェルスクリプトに精通していることが推奨されます。

無料のスキルチェック (<https://www.redhat.com/rhtapps/assessment/>)
でこのコースが自分のスキルに適切かどうかを確認してください。
/ul>

目的

このコースを修了すると次のことができるようになります。

このコースは OpenShift 開発者向けカリキュラムの導入コースであり、クラウドネイティブ開発者コースに進むために必要な基盤を提供します。

- ・ コンテナベースのアプリケーション開発の基礎を理解できます。
- ・ コンテナ化されたアプリケーションを実行、管理、トラブルシューティングできるようになります。

アウトライン

コンテナの概要

コンテナがどのようにアプリケーション開発を推進するかの説明

Podman の基本

Podman の使用によるコンテナの管理および実行

コンテナイメージ

コンテナレジストリでのコンテナイメージの検索および管理

カスタム・コンテナイメージ

アプリケーションをコンテナ化するためのカスタム・コンテナイメージの構築

データの永続化

永続的なデータベースの構築

コンテナのトラブルシューティング

コンテナログの分析とリモートデバッガーの設定

Compose を使用したマルチコンテナ・アプリケーション

Compose を使用してマルチコンテナ・アプリケーションを実行

OpenShift と Kubernetes によるコンテナ・オーケストレーション

OpenShift と Kubernetes を使用したコンテナ化アプリケーションのオーケストレーション